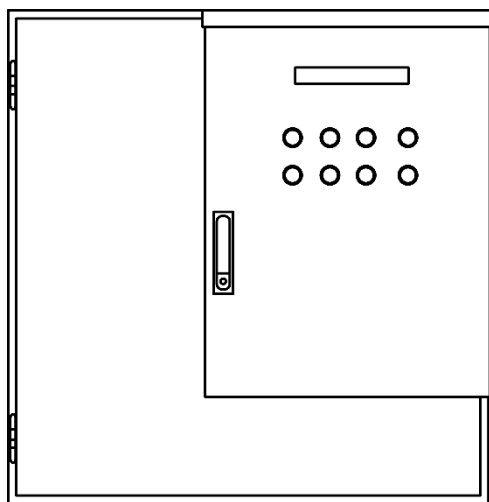




水浴槽用冷却装置 YNUシリーズ 取扱説明書



もくじ

概要

安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・1

各部のなまえ・・・・・・・・・・・・・・2

運転方法

冷却運転・・・・・・・・・・・・・・4

お手入れ

ヘヤーキャッチャーの清掃・・・・・・・・6

呼び水・・・・・・・・・・・・・・6

故障かなと思ったら・・・・・・・・・・7

アフターサービス・・・・・・・・・・9

Ver.181128

- ご使用になる前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

- 誤った取扱いをしたとき、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容



注意

- 誤った取扱いをしたとき、傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される内容

お願い

- 機器そのものの性能・寿命確保のため必ず守っていただきたい内容

備考

- 補足説明

追焚装置全般



警告

- 操作者・管理者以外に操作させないでください。
- 電源や端子、制御盤などを濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 異常時や地震、火災などの緊急時は、直ちに運転を停止してください。
- 分解・修理・改造をおこなわないでください。点検や清掃時に分解が必要な場合、取扱説明書に記載されている範囲でおこなってください。
- 浴槽管理の方法は、各都道府県の保健所（政令指定都市の場合は市の保健所、東京23区は区の保健所）の指導に従ってください。



注意

- 運転中や停止直後は熱交換器やポンプが高温になっています。手を触れないでください。
- 点検・清掃時は運転を停止させてください。
- 正しく理解したうえ使用してください。ご使用前には必ず取扱説明書をお読みください。

お願い

- 原水入口弁、仕切弁を閉めたまま運転しないでください。
- 浴槽の吐出口や吸込口を塞がないでください。
- 浴槽に水がない状態で運転をしないでください。
- 運転中は浴槽水を抜かないでください。
- 原水の変更、または入浴剤や洗剤によって水質を変えないでください。

温度調節器



警告

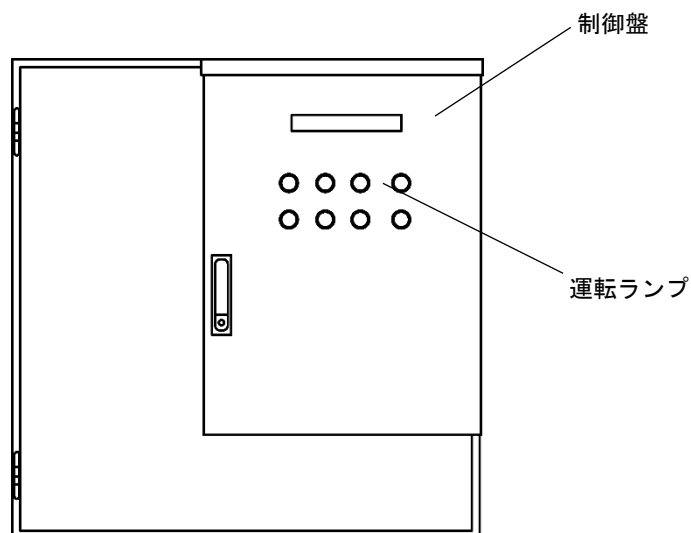
- 通電中は端子に触らないでください。感電の原因となります。
- 寿命を超えた状態で使用すると接液溶着や焼損が稀に起こる可能性があります。
- ねじが緩むと発火が稀に起こる可能性があります。

各部のなまえ

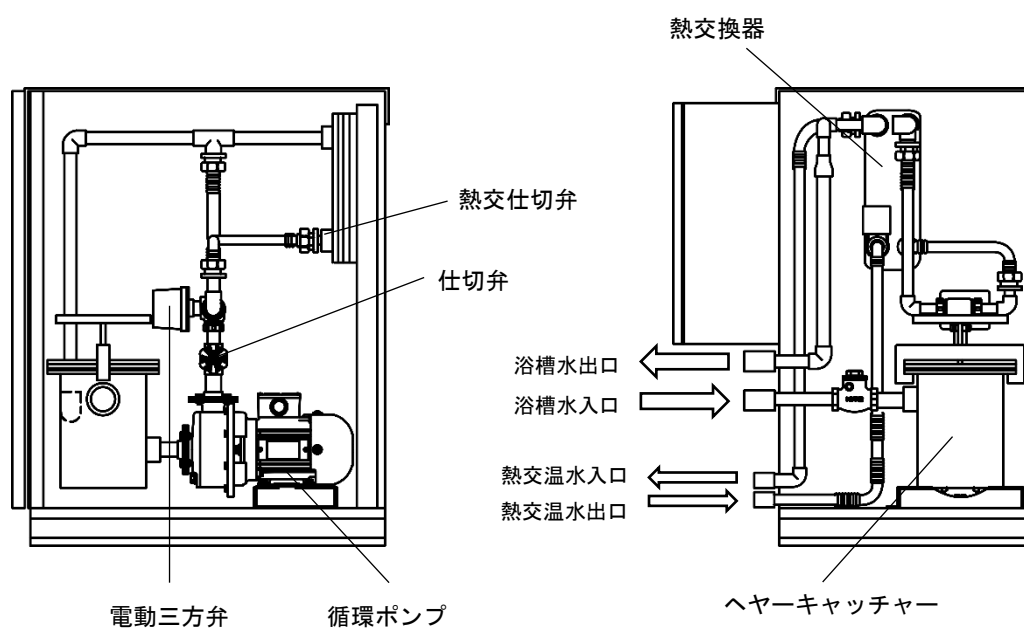
備考

- 本製品はオーダーメイドでの製作です。仕様によってレイアウトが変わることがあります。

ボックス外部

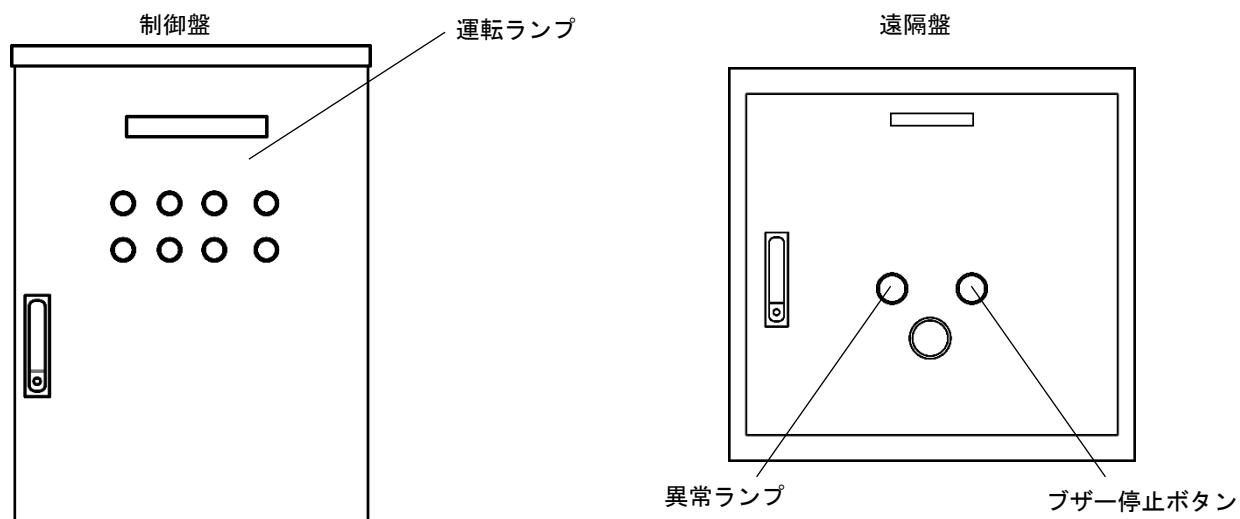


ボックス内部

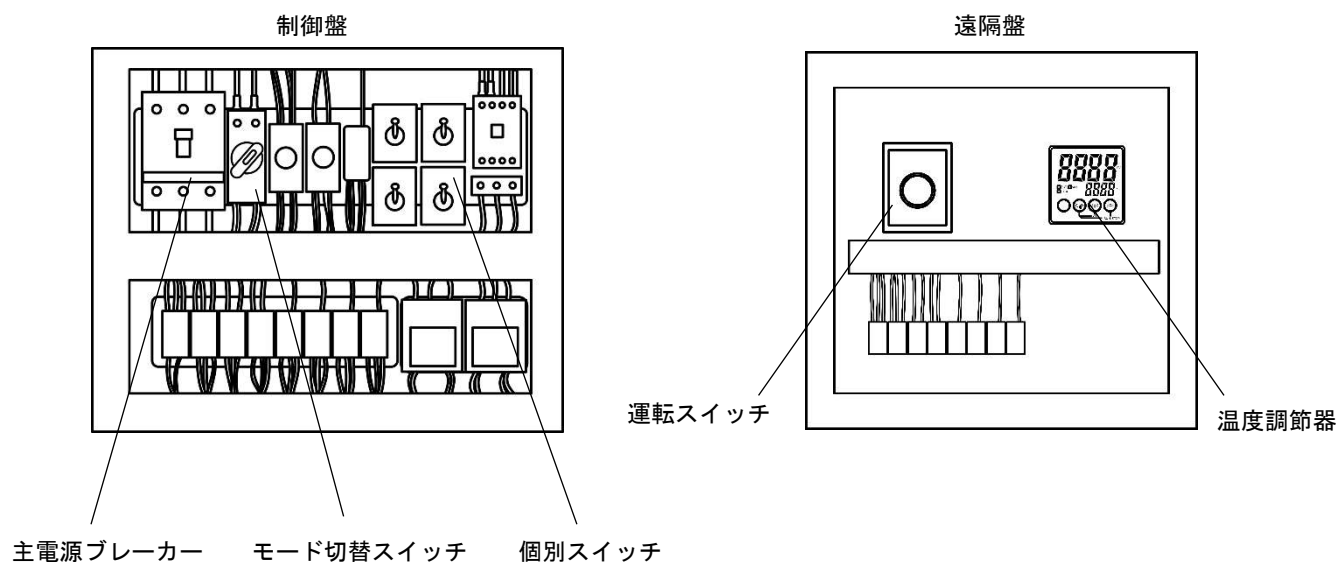


各部のなまえ（つづき）

制御盤・遠隔盤外部



制御盤・遠隔盤内部



備考

- 制御盤内のレイアウトが変更してある場合があります。表示に従って操作をおこなってください。

冷却運転

■ 運転の前に

次のことを確認してください。

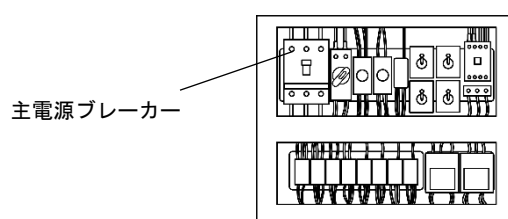
確認箇所	確認内容
浴槽の栓	栓がされているか確認します。
原水入り口弁 仕切弁 熱交仕切弁	すべてのバルブが全開にしてあるか確認します。
ヘヤーキャッチャー	排水バルブ、空気抜き弁、締め付けハンドルが完全に閉まっているか確認します。

📄 6 ページ

■ 運転準備

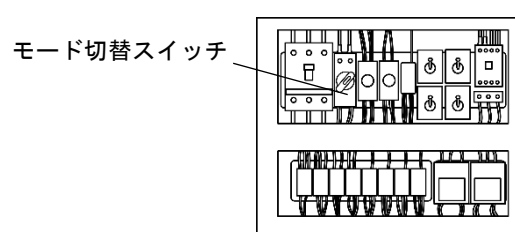
次の手順で運転準備をおこなってください。

① 主電源ブレーカーをONにする



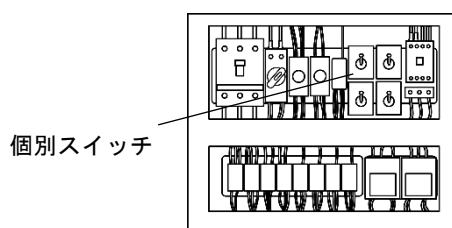
制御盤の扉を開けて、中にある主電源ブレーカーをONにしてください。

② モード切替スイッチを「遠隔」にする



主電源ブレーカーの横にあるモード切替スイッチを「遠隔」にしてください。

③ 個別スイッチをすべて「自動」にする



個別スイッチをすべて「自動」にしてください。

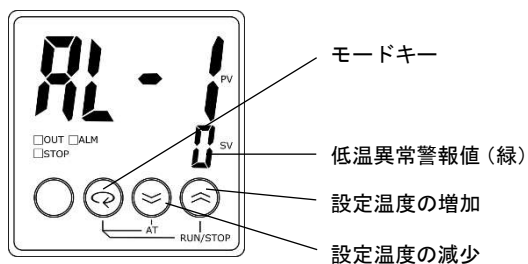
④ 温度調節器を設定する



遠隔盤内にある温度調節器で浴槽温度を設定してください。

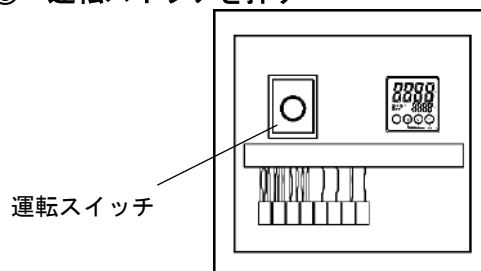
冷却運転（つづき）

⑤ 低温異常警報値を設定する



モードキーを1回押し「AL-1」の表示に合わせてから、低温異常警報値を設定してください。
設定が完了後はモードキーを2回押して元の画面に戻してください。

⑥ 運転スイッチを押す



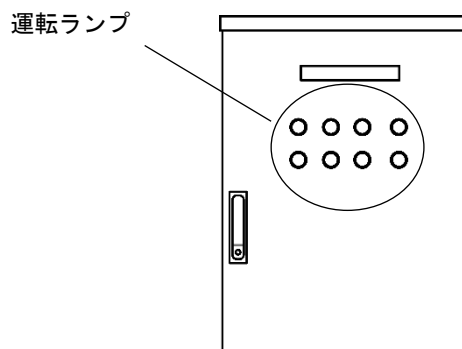
遠隔盤内にある運転スイッチを押してください。
冷却運転が開始されます。

⑦ 冷却用チラーの電源を入れる

本装置に内蔵されている熱交ポンプが運転を開始し、冷却用チラーが作動します。

本装置を運転しないまま、冷却用チラーだけを
作動させると、凍結防止機能により強制停止し、
冷却できない状態となります。
（強制停止状態からの復帰には10分～15分程度
かかります）

⑧ 運転ランプの点灯を確認する



稼働している箇所のランプが点灯します。

ヘヤーキャッチャーの清掃

お願い

- ヘヤーキャッチャーの清掃は週に1、2回、定期的におこなってください。
清掃を怠るとバスケットで目詰まりが起こり、ポンプが空運転状態になります。また、
浴槽水の温度を昇温できなくなります。

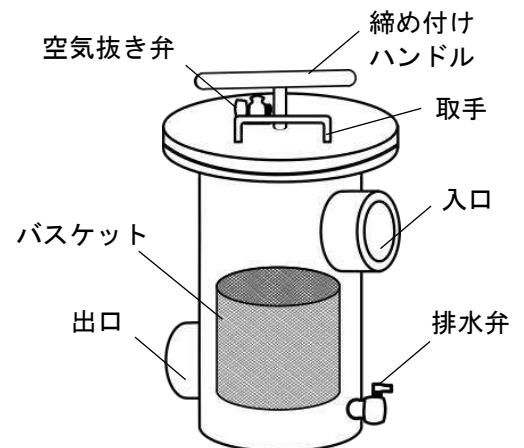
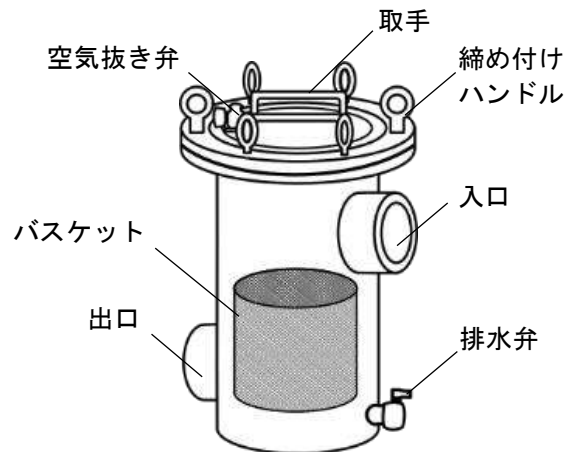
■ 清掃方法

- ① 運転を停止させ、空気抜き弁と排水弁を開ける
空気抜き弁と排水弁を開けて水抜きをしてください。

⚠ 警告

- ヘヤーキャッチャー内は真空状態になっていますので、必ず空気抜きをおこなってください。

- ② 締め付けハンドルを緩め、蓋を外す
締め付けハンドルを緩め、取手を持って蓋を外してください。
締め付けハンドルが複数個ある場合は、片締め防止のため、対角に緩めてください。
- ③ バスケットを清掃
バスケットを取り出し、清掃をおこなってください。
- ④ 締め付けハンドル、空気抜き弁を閉める
空気が漏れないよう、しっかりと閉めてください。
締め付けハンドルが複数個ある場合は、片締め防止のため、対角に閉めてください。
清掃完了です。



■ 呼び水

浴槽の満水面がヘヤーキャッチャーの位置より低い場合、浴槽水の張り替えをおこなったときなどに必要になる場合があります。以下の手順でおこなってください。

- ① ヘヤーキャッチャーの蓋を開ける
上記の「清掃方法」①～③と同じ方法で、ヘヤーキャッチャーの蓋を開けてください。
- ② 水を入れる
ホースやバケツを使ってヘヤーキャッチャー内に水を満水になるまで入れてください。
- ③ 原水入口弁を開ける
上記の「清掃方法」⑤～⑥と同じ方法で、ヘヤーキャッチャーの蓋を締め、原水入口弁を開けてください。

故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に次の点検をお願いします。



警告

- 操作盤などは濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
- 薬注装置の接液部を触る場合には必ずゴム手袋・マスク・保護メガネなどを着用してください。

■ 追い焚き装置全般

現象 1	現象 2	原因	処置
運転しない	制御盤の電源ランプが点灯しない	① 主電源ブレーカーがOFFになっている ② 制御盤に電気がきていない ③ 機器が漏電している	① ブレーカーをONにする ② 停電原因を調査する ③ 修理依頼
	循環ポンプが作動しない	① 浴槽水位が足りていない (低水位ランプが点灯している) ② モーターが回転していない	① 浴槽水を補給する ② モーターの回転軸をスパナで締める
	起動するがすぐに停止する	① 循環ポンプに過負荷がかかっている	① 修理依頼
浴槽へ補給しない		① 水位計の故障 ② 電動弁の故障	① 修理依頼 ② 修理依頼
補給水が止まらない		① 水位計の結線不良、または設定ミス ② 運転が手動になっている ③ 停電	① 結線を確認、設定の見直し ② 自動運転に切替 ③ 停電原因を調査する
水が循環しない		① 仕切弁類が開いていない ② ヘヤーキャッチャーが目詰まりを起こしている ③ 浴槽吸込口または配管内が詰まっている ④ 循環ポンプの故障	① 仕切弁を開ける ② ヘヤーキャッチャーを清掃する ③ 浴槽吸込口に異物が詰まっているか確認する。または配管洗浄依頼 ④ 修理依頼
循環ポンプのアンペアメーターの針が上がらない		① 循環ポンプが空運転をしている ② ヘヤーキャッチャー内のバスケットが目詰まりしている ③ ヘヤーキャッチャー上部の空気抜き弁が開いている	① 呼び水をおこなう ② バスケットを清掃する ③ 空気抜き弁を閉める

故障かなと思ったら（つづき）

現象 1	現象 2	原因	処置
吐出量が少ない		① ポンプヘッドに空気が混入している ② 部品の劣化、破損 ③ 配管の詰まり ④ 目詰まり	① エア抜きをおこなう ② 修理依頼 ③ 配管洗浄依頼 ④ ホース、バルブ、ストレーナーなどを洗浄する
吐出量が多い		① オーバーフィード現象の発生 ② 部品の劣化、破損	① サイフォン止めチャッキ弁の洗浄 ② 修理依頼

アフターサービス

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点があればお気軽にお電話ください。

保証について

- **保証期間と範囲**
 - (1) 保証期間は納品日から1年間です。
 - (2) 保証期間中に、製品の設計および製作の不備により、故障や破損が発生した場合、無償修理、もしくは新品への交換をさせていただきます。ただし、保証の範囲は当該の商品のみとし、その故障・破損に起因する種々の損失、およびその他の損害は保証対象に含みません。
 - (3) 保証期間内であっても、以下に該当する場合は有償の修理とさせていただきます。
 - ① 消耗品の破損、および劣化
 - ② 取扱いの不注意や正常でない使用方法による破損・故障
 - ③ 落下・衝撃などによる破損・故障
 - ④ 火災・天災・地震などの災害、および不可抗力による破損・故障
 - ⑤ 弊社製品以外の破損が起因となった破損・故障
 - ⑥ 取扱説明書に記載している使用条件の範囲外で発生した破損・故障
 - (4) 破損・故障の判定、およびその原因が製品の設計、および製作の不備か否かは、弊社の技術部門の判定に従うものとしします。

修理について

- **修理依頼をされる前に**
取扱説明書をよく読み、再度点検してください。
- **修理の依頼先**
15ページから17ページに従って調べていただき、なお異常がある場合、もしくは項目にない場合は、弊社にご連絡ください。

株式会社ユーアイ技研

☎ 072-936-0039

受付時間 平日(月曜日～金曜日・祝日は除く) 9:00～17:00

- **保証期間経過後の修理**
ご要望により有料（技術料＋部品料＋出張料など）で修理を承ります。なお、機器の異常がなかった場合、あるいは修理をしない場合も、技術料、出張料が必要となります。
 - * 技術料：診断・修理・点検などの費用
 - * 部品料：修理に使用した部品・材料代
 - * 出張料：ご依頼により技術者を派遣する費用
- **メンテナンス契約制度**
製品本来の機能を長期間維持していただくため、定期点検や消耗品の交換などをおこなう制度です。詳細については弊社までお問い合わせください。



ろ過装置製造販売元

大阪ガス株式会社認定コンサルティング会社

株式会社ユーアイ技研

大阪府知事 許可(般-30) 第 108609 号

大阪府羽曳野市埴生野 5 7 7 - 4

TEL 072-936-0039

FAX 072-936-0848

MAIL info@yuaigiken.com

HP <http://yuaigiken.com>